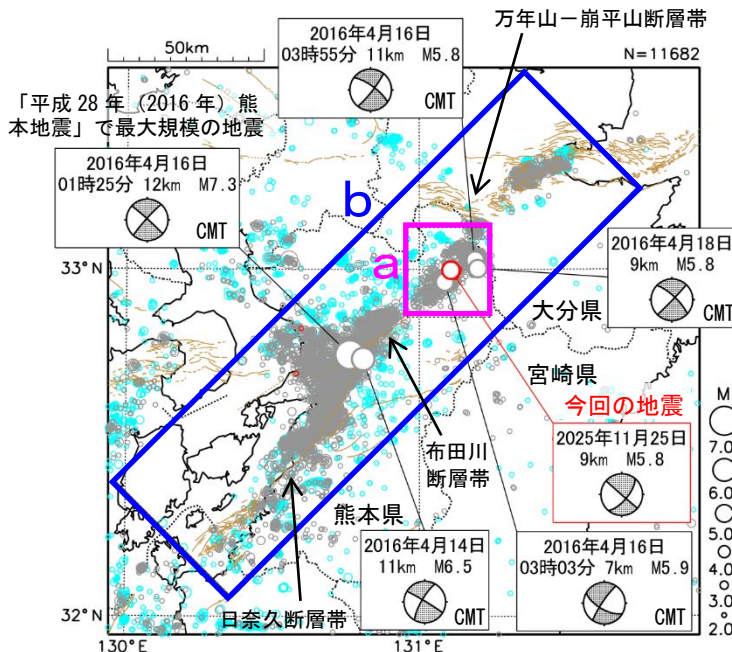


11月25日 熊本県阿蘇地方の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2025年11月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を薄青色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を灰色○、
2025年11月25日18時以降に発生した地震を赤色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

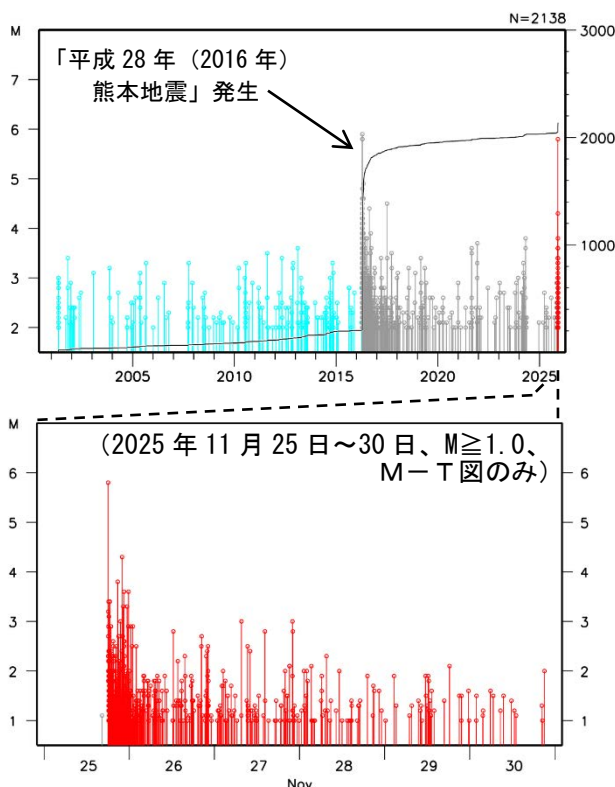
2025年11月25日18時01分に熊本県阿蘇地方の深さ9kmでM5.8の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、11月25日から30日までに震度1以上を観測した地震が47回（震度5強：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：14回、震度1：29回）発生した。この地震により、熊本県で負傷者1人の被害が生じた（被害は2025年12月3日14時00分現在、総務省消防庁による）。

気象庁は11月26日に「気象庁機動調査班 (JMA-MOT)」を派遣し、震度5強を観測した震度観測点 (1地点) について点検を実施し、観測環境が地震によって変化していないことを確認するとともに、周辺の被害や揺れの状況について確認した。

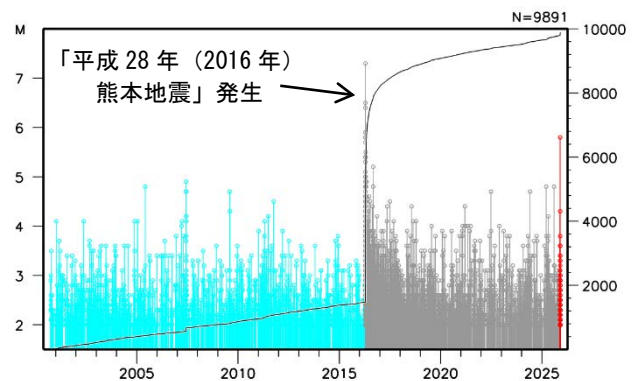
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め4回発生している。2016年4月16日03時03分にM5.9の地震（深さ7km、最大震度5強）が発生している。

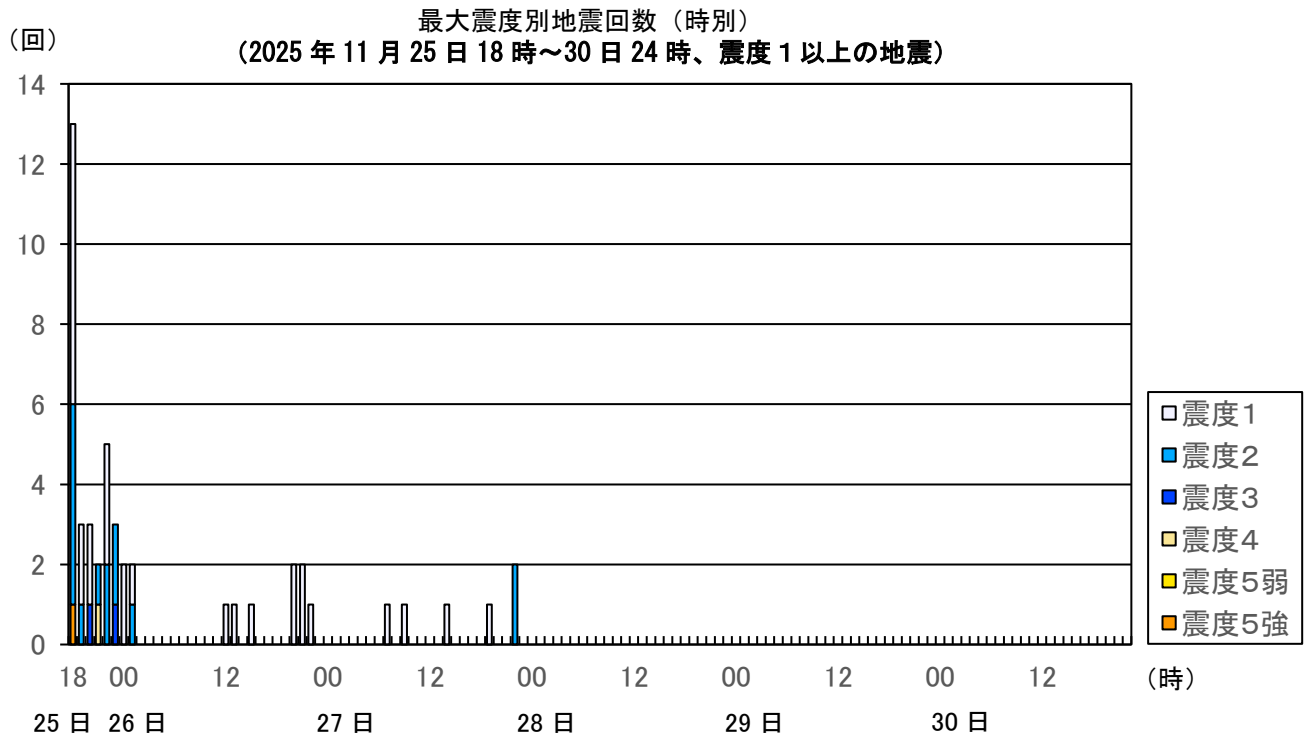
また、領域bでは「平成28年 (2016年) 熊本地震」が発生し、熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県の被害は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図

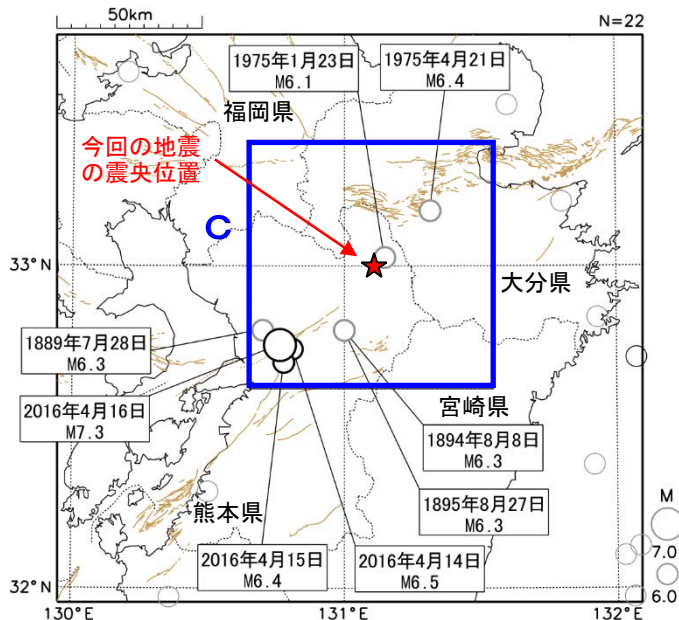


領域b内のM-T図及び回数積算図





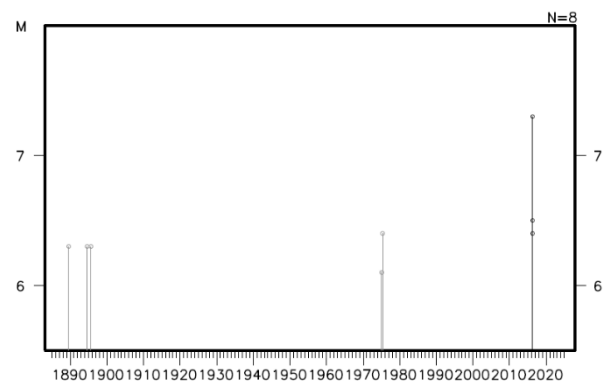
震央分布図
（1885年1月1日～2025年11月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 6.0$ ）
2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を黒色○、
2025年11月25日以降に発生した地震を赤色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
（震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津
（2001）、宇津（1982, 1985）による※）

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震が8回発生している。このうち、1889年7月28日には $M6.3$ の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた。また、1975年4月21日には $M6.4$ の地震が発生し、大分県で負傷者22人、家屋全壊58棟などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



※宇津徳治（1982）：日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，56，401-463.

宇津徳治（1985）：日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642.